

第31回 県民意識調査報告書

調査テーマ

「県民の食育に対する考えと実践状況」

令和7年度

兵庫県

目次

I 調査の概要

1	調査目的	1
2	調査概要	1
3	回収結果	1
4	標本抽出および集計方法	2
5	回答者のプロフィール	3
6	標本誤差	5

II 調査の結果

1	健康的な生活習慣について	
問1	朝食の摂取状況	6
問2	栄養バランスに配慮した食生活	10
問3	共食の状況	14
2	環境と調和のとれた消費行動について	
問4	環境に配慮した食品選択	18
問5	食品ロス削減のための取り組み	22
3	食に関する情報について	
問6	食に関する情報源	27
4	災害時も健康に過ごせる食育について	
問7	非常時の食の備え	32
問8	非常時の食の備え	36
5	地域の多様な食文化の継承について	
問9	食文化の継承	40
6	県民と一体となった食育推進について	
問10	食育への関心度	48
問11	実践している食育活動	54
問12	減塩やたんぱく質強化食品の利用状況	60
問13	減塩やたんぱく質強化食品を購入する際に期待すること	68
問14	安全な食生活に向けた意識と実践	73
7	毎年調査項目	
問15	今の生活全般での満足度	105
問16	今の生活の項目別での満足度	109
問17	去年と比べた生活の向上感	136
問18	大地震発生の可能性	140
問19	地域活動への参加	144
問20	県政への関心	147
問21	県政への評価	151
問22	県民局・県民センターの認知度	184

Ⅲ 調査票

第 31 回県民意識調査「県民の食育に対する考えと実践状況」調査票…………… 188

調査結果を読む際の注意

結果数値（％）は0.1％未満を四捨五入しているため、内訳の合計が計に一致しないことがある。

グラフ中のカテゴリーの順番が、調査票と異なることがある。

グラフ・表中での選択肢表記は、語句を短縮・簡略化していることがある。

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は県民の価値観や行動志向、行政への評価・要望など、県民生活の基本的な意識の経年変化を大きな潮流として捉えることにより、政策形成、施策運営の基礎資料を得ることを目的としている。

今回は、年次テーマを「県民の食育に対する考えと実践状況」とし、令和4年度に策定した「食育推進計画(第4次)」が令和8年度に終期を迎えることから、県民の食生活や健康づくり、食育の意識等を調査し、今後の計画の改定に活用する。

2 調査概要

- (1) 調査地域 県下全域
- (2) 調査対象 県内に居住する満18歳以上の男女個人
- (3) 標本数 5,000人
- (4) 調査方法 郵送配布、郵送及びインターネット回答（ハガキによる督促1回）
- (5) 調査時期 令和7年10月1日(水)～10月29日(水)
- (6) 県民意識調査有識者会議

設問作成にあたり、下記の学識経験者から指導・助言を得た。

中出 麻紀子（兵庫県立大学 環境人間学部 食環境栄養課程 准教授）

吉田 三千代（公益財団法人 関西消費者協会 理事） [五十音順]

3 回収結果

回収数 3,111件（回収率62.2%）

地域	標本数	回収数	回収率	無効票	有効回答
神戸	500	281	56.2%	0	281
阪神南	500	289	57.8%	0	289
阪神北	500	316	63.2%	0	316
東播磨	500	321	64.2%	0	321
北播磨	500	309	61.8%	2	307
中播磨	500	287	57.4%	0	287
西播磨	500	342	68.4%	0	342
但馬	500	332	66.4%	1	331
丹波	500	316	63.2%	1	315
淡路	500	317	63.4%	1	316
不明		1		1	0
全県	5,000	3,111	62.2%	6	3,105

※無効票は属性不明等

4 標本抽出および集計方法

- (1) 母集団 住民基本台帳（R7.1.1）に記載された県民数
- (2) 標本配分 10 の地域毎に 500 の標本数を市町別・男女別・年齢 10 歳階級別の母集団構成比に応じて配分（合計 5,000 人）
- (3) 抽出方法 層化無作為抽出法
- (4) 集計方法 地域ごとの回収数について、重み付け集計により、全県内の母集団構成比を復元



県民局・ 県民センター	該当市町
神戸	神戸市
阪神南	尼崎市、西宮市、芦屋市
阪神北	伊丹市、宝塚市、川西市、 三田市、猪名川町
東播磨	明石市、加古川市、高砂市、 稲美町、播磨町
北播磨	西脇市、三木市、小野市、 加西市、加東市、多可町
中播磨	姫路市、神河町、市川町、 福崎町
西播磨	相生市、たつの市、赤穂市、 宍粟市、太子町、上郡町、 佐用町
但馬	豊岡市、養父市、朝来市、 香美町、新温泉町
丹波	丹波篠山市、丹波市
淡路	洲本市、南あわじ市、淡路市

5 回答者のプロフィール

○性別 (%)

	男性	女性	答えたくない	不明
全県	39.9	57.2	2.1	0.8
神戸	40.9	56.9	2.1	0.0
阪神南	37.4	60.6	1.0	1.0
阪神北	39.2	57.3	2.5	0.9
東播磨	38.0	58.9	2.2	0.9
北播磨	39.4	56.0	2.6	2.0
中播磨	43.9	53.0	2.4	0.7
西播磨	41.8	53.2	3.2	1.8
但馬	44.7	52.9	1.2	1.2
丹波	37.8	59.0	1.6	1.6
淡路	39.2	56.3	2.5	1.9

○年齢 (%)

	18歳以上	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	不明
全県	9.1	9.5	13.6	17.3	17.4	19.5	12.9	0.8
神戸	8.5	10.0	14.2	16.7	17.4	19.2	13.9	0.0
阪神南	11.1	10.4	13.5	19.0	14.9	19.4	10.7	1.0
阪神北	8.9	8.5	13.6	18.7	18.7	17.4	13.6	0.6
東播磨	8.7	12.1	15.3	15.3	17.1	18.7	11.8	0.9
北播磨	11.4	6.5	9.4	16.3	17.3	23.5	13.7	2.0
中播磨	9.1	8.4	13.6	19.2	19.2	19.5	10.1	1.0
西播磨	8.2	6.4	11.7	16.7	18.7	21.1	15.5	1.8
但馬	5.4	7.3	11.2	15.4	19.0	23.3	17.5	0.9
丹波	6.3	7.3	11.1	14.0	18.4	22.5	18.7	1.3
淡路	7.6	7.9	12.7	14.6	17.4	23.1	14.9	1.9

○職業 (%)

	職業別								不明
	自営業	正規社員 (職員)	会社等の 役員	契約・ 派遣社員	パート・ アルバイト	主婦 (主夫)	学生	その他 無職	
全県	6.9	27.7	2.3	6.4	15.4	16.1	2.9	21.0	1.4
神戸	7.8	25.6	2.1	6.8	12.5	20.3	3.9	19.9	1.1
阪神南	3.5	28.4	3.1	7.3	19.0	12.8	2.4	22.1	1.4
阪神北	6.3	28.5	1.9	7.0	17.4	14.9	4.1	19.0	0.9
東播磨	4.4	30.5	0.9	7.2	15.3	16.8	0.9	22.7	1.2
北播磨	8.1	29.0	0.7	4.6	16.6	12.7	3.6	21.5	3.3
中播磨	9.1	29.6	2.8	5.2	14.6	14.6	2.8	20.6	0.7
西播磨	7.6	27.2	2.9	4.7	14.0	15.5	1.5	24.3	2.3
但馬	12.1	23.0	3.9	4.5	14.5	15.4	1.5	23.6	1.5
丹波	12.1	23.8	4.8	3.2	14.6	15.9	2.2	19.7	3.8
淡路	16.1	25.3	1.6	3.8	16.5	11.7	2.8	19.0	3.2

○世帯構成 (%)

	1人世帯	夫婦だけ (1世代)	親と子ども (2世代)	親と子と孫 (3世代)	その他	不明
全県	13.6	28.4	48.5	6.1	2.1	1.2
神戸	13.5	26.7	51.6	5.0	2.8	0.4
阪神南	19.4	24.6	48.8	3.1	2.1	2.1
阪神北	11.1	33.9	48.1	4.1	1.9	0.9
東播磨	11.8	30.8	48.3	7.2	0.6	1.2
北播磨	10.4	26.7	48.9	9.8	2.6	1.6
中播磨	12.5	28.6	44.3	11.1	2.4	1.0
西播磨	9.4	30.4	50.0	5.8	2.6	1.8
但馬	13.0	30.2	42.6	11.8	1.8	0.6
丹波	13.0	28.9	42.9	11.7	1.6	1.9
淡路	12.0	33.5	41.5	9.5	0.9	2.5

○在住年数 (%)

	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	不明
全県	2.2	5.6	4.7	10.5	10.8	9.8	55.6	0.9
神戸	1.8	7.1	6.0	11.0	12.8	11.0	49.8	0.4
阪神南	3.8	5.9	5.5	12.5	13.1	10.7	47.4	1.0
阪神北	1.9	6.3	3.8	11.4	10.1	11.4	53.8	1.3
東播磨	1.6	5.6	3.7	14.0	8.7	10.0	55.5	0.9
北播磨	1.3	3.9	4.6	4.9	6.2	8.8	68.7	1.6
中播磨	2.4	4.5	3.8	9.1	9.8	7.3	62.4	0.7
西播磨	1.5	1.5	1.5	3.8	7.3	6.1	76.6	1.8
但馬	1.5	2.7	1.8	5.7	10.3	5.7	71.3	0.9
丹波	0.6	2.5	5.1	4.4	6.0	4.8	75.2	1.3
淡路	3.8	1.9	3.8	5.4	6.6	6.6	69.3	2.5

○インターネットの利用環境 (%)

	パソコン	スマートフォン	利用していない	不明
全県	13.7	69.6	15.7	1.0
神戸	13.5	71.2	14.9	0.4
阪神南	12.8	72.0	13.8	1.4
阪神北	17.4	71.5	10.1	0.9
東播磨	14.0	71.0	14.0	0.9
北播磨	12.4	63.2	22.8	1.6
中播磨	11.1	70.0	18.1	0.7
西播磨	13.7	59.9	24.6	1.8
但馬	13.9	61.3	23.9	0.9
丹波	13.7	63.2	21.3	1.9
淡路	13.0	59.8	24.7	2.5

6 標本誤差

世論調査で無作為抽出法をとった場合は、数学的に標本誤差を計算することが可能であり、誤差の幅はサンプル数と得られた結果の比率などによって異なる。

今回の調査のサンプル数についての標本誤差の幅は、以下のとおりである。

誤差の算出

(層化抽出、信頼度95%の場合)

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

N : 母集団 n : 回答者 P : 回答比率 (%)

〈例：サンプル数3, 1 1 1の場合〉

回答比率 (%)	10% (または90%)	20% (または80%)	30% (または70%)	40% (または60%)	50%
誤差 (%)	±1.08	±1.43	±1.64	±1.76	±1.79